

## 経営協議会議事要旨

日時 平成16年4月20日(火) 13:30~15:45  
場所 事務局3階 大会議室  
出席者 遠藤(学長・議長), 昆, 三國, 神田, 藤田(正), 渡邊, 高橋, 石戸谷, 岡井,  
小田切, 櫛引, 武田, 中村, 安田の各委員  
欠席者 棟方, 藤田(喜)の各委員  
事務局 吉田総務課長, 千葉財務課長, 和田経理課長, 京野契約管理課長

### 配付資料

- 資料1 平成16年度 国立大学法人弘前大学の予算配分方針(案)
- 資料1-2 中期目標・中期計画に係る平成16年度事業計画一覧
- 資料2 国立大学法人弘前大学管理運営規則(抜粋)
- 資料3 国立大学法人弘前大学人事苦情処理室室員名簿(案)
- 資料4 中期目標原案
- 資料5 中期計画案

4月1日に開催された前回経営協議会の議事要旨(案)が確認された。

### 審議事項

#### 1 平成16年度 国立大学法人弘前大学の予算配分方針について

議長から,平成16年度の本学の予算配分方針について語りたい旨の発言があった後,引き続き,三國財務担当理事及び財務部から,資料1に基づき,平成16年度の予算配分方針(案)について説明があった。

続いて,予算配分方針の最終決定方法,従来の配分方法との違い,運営費交付金が決定されるまでの仕組み,経費の繰越及び外部資金導入の拡充策等について質疑応答があった後,おおむね次のような意見交換があった。

運営費交付金は,今後減っていくのは明らかであるので,いかにして自己収入を増やしていくかが大きな課題である。基本的には自前で運営していくことが経営の基本であることから,節約する部分は節約するような哲学で運営していかなければならない。

従来の予算制度の体質ではなく,いかにして民間的な経営意識を導入し,公明正大,かつ,モチベーションの還元を図るかが大切である。

本学では,法人化に伴い,学内に評価室を設置し,教員の教育や研究の評価及び業務の評価を行うことにしており,現在,評価の仕組みの検討に着手したところである。また,雇用計画に基づく人件費の確保についても検討する予定であるが,この点については,大学は民間企業等に比べて立ち後れているため,今後,本協議会の提言を取り入れていきたい。

民間企業では,現場から計画及び目標値を提案させ,目標管理を行うのが最近の考え方である。そういう点では,大学トップの方針の下に,中期計画に基づいた,予算管理を行うのがよいのではないか。

大学としても,事業実施計画を確実なものにするために,各部局に収入予定額を提示させたり,各部局からの要求内容について,学長ヒアリングを行うことで対応する予定である。

続いて、三國財務担当理事から、予算配分方針（案）に基づいて配分した場合の予算額のイメージについて説明があった後、議長から、平成16年度の予算配分方針（案）について諮られ、原案どおり了承された。また、議長から、本日は承された予算配分方針に基づき、予算編成の細目の作成に着手したい旨の発言があった。

## 2 人事苦情処理室室員の推薦について

議長から、国立大学法人弘前大学管理運営規則第110条第2項第1号に基づき、本協議会から推薦する人事苦情処理室室員について、下記の学外有識者を推薦したい旨の提案があり、審議の結果、異議なく了承された。

佐藤 久美子	佐藤労務管理事務所	社会保険労務士
佐藤 裕	NHK文化センター	弘前支社長
斎藤 悦朗	弘前航空電子株式会社	総務部長

## 報告事項

### 1 中期目標原案及び中期計画案について

議長から、文部科学省に提出する中期目標原案及び中期計画案について、前回の本協議会で配付した中期目標・中期計画（案）からの修正点及び追加点について説明があった。

議長から、次回の本協議会は、5月18日（火）13時30分から開催したい旨の発言があり、了承された。

以 上